

研究課題名	大阪におけるCOVID-19による重症呼吸不全治療の多施設後方視的疫学調査
研究の意義・目的	本研究の目的は、大阪急性期・総合医療センターならびに大阪府内の集中治療可能施設の中で診療を行った COVID-19（新型コロナウイルス感染症）による重症呼吸不全を対象として、その治療経過を集計することで、COVID-19 による重症呼吸不全の病態解明と治療法開発の一助を明らかにすることです。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2020 年 1 月～2021 年 3 月に大阪市立大学医学部附属病院の救命救急科で、入院加療を行った COVID-19 による重症呼吸不全の治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、性別、居住地、喫煙歴、発症日、入院日、ICU 入室・退出日、人工呼吸器装着・離脱日、ECMO 装着・離脱日、透析の有無、 COVID-19 に対して使用した薬剤、ステロイド関連合併症、28 日生存、自宅退院時残存障害】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関大阪急性期・総合医療センター 救急診療科に頂いた情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>【研究代表者】 大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 川田 真大</p> <p>【研究協力組織】</p> <p>浅田 留美子 大阪府健康医療部 内山 明則 大阪大学医学部附属病院 島津 岳士 大阪大学医学部附属病院 澤野 宏隆 済生会千里病院 高須 朗 大阪医科大学附属病院 中森 靖 関西医科大学総合医療センター 山村 仁 中河内救命救急センター 緒方 嘉隆 八尾徳洲会病院 栗田 隆志 近畿大学病院 中田 康城 堺市立総合医療センター 中尾 彰太 りんくう総合医療センター 鍛冶 有登 岸和田徳洲会病院 林下 浩士 大阪市立総合医療センター 大西 光雄 国立病院機構大阪医療センター 西村 英祥 大阪赤十字病院 溝端 康光 大阪市立大学医学部附属病院 柏 庸三 大阪はびきの医療センター</p>
試料・情報を管理する責任者	<p>【研究代表者】 大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 川田 真大</p> <p>大阪市立大学大学院医学研究科 救急医学 研究責任者 日村 帆志</p>
本研究の	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受け

利益相反	て適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学 大学院医学研究科救急医学 日村 帆志 お問合せ先：06-6645-3987